

せめて自分の頭で考えろよ！ 継続組合員からの脱退＝脱落！ いつまで経っても、操り人形！

12月16日、継続組合員であり名古屋地本の特別執行委員である越坂武は、松山委員長の電話で「継続組合員を辞める意向である。」と伝えてきた。越坂曰く、「総連に世話になってきた。（総連）と決別とはならない。今後、話し合いはしない。」との理由で、名古屋地本執行部のライングループからも早々に退会をした。

東海労結成以来、実直で、献身的な彼の姿勢はこれまでの脱落者同様、最後は操られ惨めな醜態をさらけ出すに至った。

この間、地本執行部は彼自身の体調問題や親族への対応を考慮しながら、特別執行委員という立場が負担とならないよう配慮し、少なくとも一継続組合員として今後も松山体制を支えてもらうべく要請を行ってきた。

12月17日、松山委員長からの「総連と共にと言うことは、今後はセントラル労組を支援していくのか？」の問いに「う〜ん。それは分からない。」としどろもどろに答え、「え？！セントラル労組、知ってますよね？」と返されると「う〜ん。知っているが。」と、これまたしどろもどろに答え、慌てて一方的に電話を切った。

どこからかのマニュアルなしではいつまで経っても自分の頭で考えられず、答えられないのだ。

その後、松山委員長は「最後くらいはちゃんと話して欲しかったですよ。加入時からお世話になってきましたが、このように会話すらしないのはどうでしょうか。本当に酷い。人間味のかけらも無い。」と、ラインを送った。既読はされたようだが、30歳以上も年の離れた後輩からの言葉を彼はどう受け止めただろうか。

**名古屋地本は、
東海労を破壊せんとする全ての輩と断固対決をする！**